



1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

これから始まる中学校生活が、みなさんにとって楽しく充実したものになるよう、図書館から応援しています。

進級された2年生、3年生のみなさんも、新学年スタートのこの機会にぜひ図書館の本を手にとってみてください。

元気になる本、ほっと一息つける本、勉強になる本、色々な本と一緒にお待ちしています。

(学校司書 ^{ししよ}板橋 ^{いたはし} 彰子)

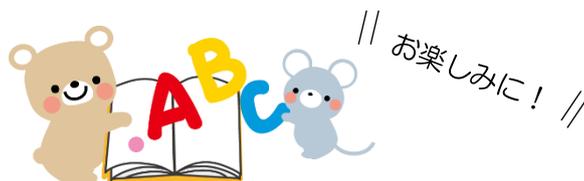


《 新着図書紹介 》



●これから入る予定の本

- ・ 推し、燃ゆ (宇佐見りん／著)
- ・ あの花が咲く丘で、また君と出会えたら (汐見夏衛／著)
- ・ 空より高く (重松清／著)
- ・ 希望の図書館 (リサ・クライン・ランサム／著)
- ・ 366 日風景画をめぐる旅 (海野弘／解説・監修)
- ・ ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 15 (廣嶋玲子/作 j y a j y a/絵)
- ・ J1 & J2 & J3 選手名鑑 2021 (サッカーダイジェスト／責任編集)
- ・ プロ野球全選手カラー写真名鑑&パーフェクトDATA BOOK 2021 (ベースボール・マガジン社／編)
- ・ あしたの幸福 (いとうみく／著)
- ・ あたしたちのサバイバル教室 特装版 (高橋桐矢／作 芝生かや／絵)
- ・ あたしたちの居場所 特装版 (高橋桐矢／作 芝生かや／絵)
- ・ 「織細さん」の本 「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる (武田友紀／著)
- ・ 気持ちを「言葉にできる」魔法のノート (梅田悟司／著)



《 おすすめの本が紹介されました 》

「心が動いた私の1冊」として、吉中からは3人の生徒が応募し、町立図書館で紹介されました。



本のあらすじや、おすすめポイント、読んで感じたことなど、それぞれ思いを込めて書かれていました。

見やすいように色をつけたり、イラストを描いたり、工夫されています。

町民のみなさんや他校の生徒にも見てもらう機会ですので、ぜひ挑戦してみてください。今年度も実施予定です！

～ 新学年スタートにあたり、メッセージをいただきました。～



《 福原校長先生（吉中図書館 館長）より 》

飯を食え 空を見ろ 本を読め

これは私の好きな言葉です。

株式会社トーハンの「こどもに本を贈る日」に関する新聞広告（1991年5月5日）に書いてあった文章です。

春が生まれた日に、おまえは生まれた。

いや、おまえが春を生んだ。父の人生に小さな花が咲いた。

初めておまえのいのちを受け止めた時、あまりにせつなく、

あまりに無垢（むく）な重みに、父は一瞬たじろいだ。

その時、おまえの時間と父の時間はまっすぐにつながった。

おまえの喜びのために、父は働いた。

おまえが泣けば、おまえを抱いた。

おまえと同じものを見つめ、おまえと同じ速さで生きた。

しかし、いつか、おまえは父の力の遠くおよばぬ人生を選ばねばならない。

ただ独りで歩いてゆかねばならない。

いつか訪れる日々のために、父はこうつぶやくのだ。



飯を食え。 空を見ろ。 本を読め。

少々のことにはへこたれない体とおおらかな心。
そして読書の習慣。
想像力の遊び場を持つことで、生きるいたみは軽くなる。
本には悲しみの出口がある。
読書の喜びを知る者のいのちは磨かれる。
言葉との格闘は、人の生を深くする。
どうか人生の途中で父のつづやきを思い出して欲しいのだ。



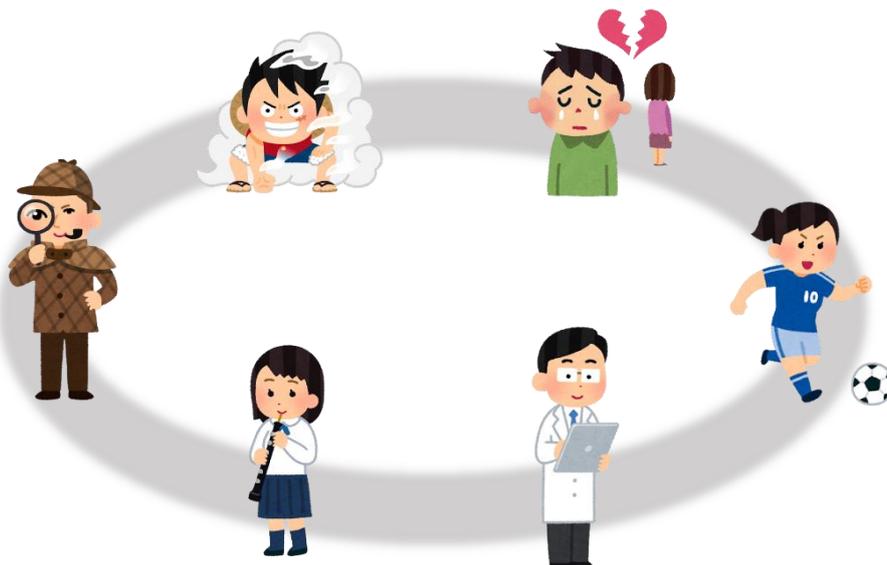
飯を食え。 空を見ろ。 本を読め。

その時確かにもう一度、おまえの時間と父の時間はつながるのだ。
おまえのいのちと父のいのちはつながるのだ。

みなさんに、自分を支え、そして自分の行く道を照らしてくれる本との出会い
がありますように……。

《 村上先生（^{ししよきょうゆ}司書教諭）より 》

本を読むということは、「世界」と出会うことだと思います。自分の知らない文化、価値観、知識との出会い。自分の想像もしたことのなかった物語の世界、人物との出会い。本はたくさんの経験と知識、そして感動を与えてくれます。あなたが本を読むことで手に入れた知識、経験、感動はあなたの人生にとってのかけがえのない財産となります。そして、あなたが物語を読み、そこで出会った世界や人物は、あなたの世界を変えてくれ、ときに支えてくれることでしょう。読書が世界との出会いだと言えるなら、図書館という場所は、そんな世界への入り口だとも言えるでしょう。ぜひ図書館へきてください。たくさんの世界が、あなたを待っています。



《 吉中図書館紹介 》

こんなところです。↓↓



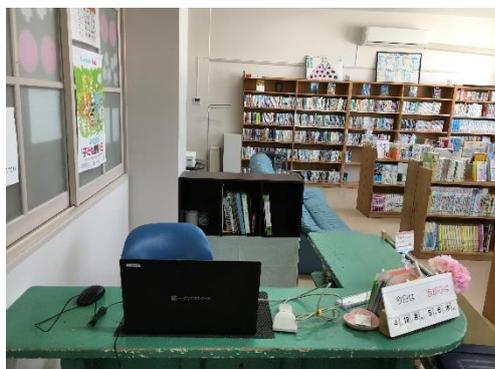
●入口

いつでも WELCOME です。



●入口横

季節の展示や、文化委員さんのおすすめ本を置いています。



●カウンター

ここで本を貸し借りします。



●新刊展示

入口入って右に展示しています。



●全体写真

本を分類して置いています。

吉中図書館は「文学」の分類の本が多いです。



●ミニ展示コーナー

後ろの入口付近にあります。

不定期で、テーマを設けて展示しています。

気軽に声をかけて
くださいね！

